

伝えたい 残したい 20世紀のうしく



この写真は、1954年(昭和29年)に東下根で撮影された、落花生を運搬する様子です。

当時、岡田村周辺で収穫された落花生を集めて、栃木県の宇都宮や真岡で販売し、帰りに砂利や大谷石などを積んで帰ったそうです。

落花生は1袋30kg、一度の運搬で150～160袋を積んでいたということです。

(ひたち野西・大野氏所蔵)

明治・大正・昭和初期の「昔のうしく」の写真を募集しています

皆様のご家庭に眠っている「昔のうしく」の写真はありませんか？市では今、そのような「昔のうしく」の写真、特に明治・大正・昭和初期の牛久の風景や施設、年中行事の様子が分かる写真を募集しています。「懐かしい」「残したい」写真がありましたら、ぜひご協力ください。

問 生涯学習課 ☎内線3031



第二幼稚園のお友だち



第二幼稚園のお友だちは、折り紙で作った「かっぱ」の作品を披露してくれました。

園では、地域に根ざした活動を大切にしており、年間を通して「うしくのかっぱ」にかかわる取り組みをしています。年長さんになると、すっかり自分なりのかっぱ像を見つけているようで、カラフルで元気なかっぱたちが並びました。

みんな、よくできましたね。



▲廊下には、大きなかっぱの説明書き！

さくらぐみ



再生紙を使用しています。

環境に優しい大豆インキを使用しています。

平成26年3月1日(1116)号

発行・編集 / 牛久市市民活動課

〒300-1292 茨城県牛久市中央3丁目15番地1

☎029-873-2111 FAX029-873-2512 ホームページ <http://www.city.ushiku.lg.jp/>